



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社
コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 京川 吉正 TEL 06-6202-2161
四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	219,626	△2.1	60,422	△42.5	74,784	△37.6	70,731	△20.6	71,000	△20.3	80,790	△16.3
2021年3月期第3四半期	224,419	△11.9	105,160	△1.4	119,789	△3.1	89,032	△5.6	89,032	△5.5	96,515	12.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	235.51	235.43
2021年3月期第3四半期	289.52	289.41

(注) 2021年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第3四半期の要約四半期連結財務諸表を遡及修正しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,038,898	912,309	894,670	86.1
2021年3月期	998,992	864,550	846,108	84.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	53.00	—	55.00	108.00
2022年3月期	—	55.00	—		
2022年3月期（予想）				55.00	110.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	294,000	△1.1	90,000	△23.4	115,000	△19.6	100,000	△10.6	331.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	311,586,165株	2021年3月期	311,586,165株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	10,102,853株	2021年3月期	10,122,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	301,477,545株	2021年3月期3Q	307,515,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、2022年2月1日（火）にアナリスト向けに説明会を開催する予定です。説明内容（トランスクリプト）については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）の業績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間 ※2	増減	増減率（%）
売上収益	219,626	224,419	△4,793	△2.1
営業利益	60,422	105,160	△44,738	△42.5
コア営業利益 ※1	61,917	79,974	△18,057	△22.6
税引前四半期利益	74,784	119,789	△45,004	△37.6
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	71,000	89,032	△18,031	△20.3

※1 会社の経常的な収益性を示す利益指標として「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。「コア営業利益」は、営業利益から非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整した利益となります。

※2 前連結会計年度において、Tetraの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間の数値を遡及修正しております。

売上収益につきましては、前年同期比2.1%の減収となりました。国内医療用医薬品の売上収益につきましては、インチュニブの売上収益が拡大しましたが、サインバルタの後発品参入の影響による売上収益の減少により前年同期比3.2%の減収となりました。海外子会社及び輸出の売上収益につきましては、多剤耐性グラム陰性菌に効果を示すセフィデロコル（米国の製品名：Fetroja、欧州の製品名：Fetroja）が欧米で好調に推移したことに加え、米国において、FORTAMETの販売権等の移管に関する一時金を受領した結果、前年同期比49.7%の増収となりました。製造受託による売上収益につきましては、医薬品製造を請け負うナガセ医薬品を2020年度第3四半期連結会計期間に連結子会社化したことに加え、ヴィーブからのドルテグラビル原薬の受注増により、前年同期比15.3%の増収となりました。ロイヤリティー収入につきましては、ヴィーブによる抗HIV薬テビケイ、トリーメク、ジャルカ及びドゥベイトのグローバル販売は引き続き堅調に推移し、同社からのロイヤリティー収入は前年同期比1.2%の増収となりました。また、HIVインテグラーゼ阻害薬S-365598の導出に伴う一時金をヴィーブより受領したものの、アストラゼネカからのクレストールのロイヤリティー収入につきましては、契約に基づき2020年度第4四半期連結会計期間より受領額が減少したことから、ロイヤリティー収入全体では前年同期比10.8%の減収となりました。

利益面では、海外子会社及び輸出、製造受託は増収となった一方、売上原価の増加が上回った結果、売上総利益は前年同期比で4.6%減少しました。営業利益につきましては、セフィデロコルの販売活動費用の増加、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬、ワクチン等の最優先課題や注力プロジェクトへの研究開発投資の増加により、販売費及び一般管理費、研究開発費が増加し、さらに2020年度第3四半期連結会計期間に発生したシオノギ渋谷ビル再開発に伴う交換益の影響により、その他の収益が減少した結果、前年同期比42.5%の減少となりました。コア営業利益は、前述のシオノギ渋谷ビルの交換益、有形固定資産の除却損や法人税等の還付加算金等を調整した結果、前年同期比で22.6%の減少となりました。税引前四半期利益につきましては、営業利益の減少に伴い、前年同期比37.6%の減少となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領したものの、税引前四半期利益の減少に伴い、前年同期比20.3%の減少となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1兆388億98百万円で、前連結会計年度末に比べて399億5百万円増加しました。

非流動資産は、主に有形固定資産の増加により4,522億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて94億66百万円の増加となりました。流動資産は現金及び現金同等物、3ヶ月超の定期預金及び債券（流動資産のその他の金融資産に含みます）の増減等の結果、5,866億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて304億39百万円増加しました。

資本については9,123億9百万円となり、四半期利益の計上、配当金の支払の結果、前連結会計年度末に比べて477億59百万円増加しました。

負債については1,265億88百万円で、前連結会計年度末に比べて78億53百万円減少しました。

非流動負債は320億94百万円で、21億66百万円の減少となりました。流動負債は主に法人税等の納付による未払法人所得税の減少等の結果、944億93百万円となり、前連結会計年度に比べて56億86百万円の減少となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益が減少した一方、大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領したため、前年同期に比べ180億69百万円多い767億9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の増減、余資運用に係る有価証券の取得等により、前年同期に比べ699億91百万円多い1,179億64百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に自己株式の取得、第三者割当による自己株式の処分及び平安グループとの子会社設立に伴う株式発行収入があったため、前年同期に比べ223億90百万円多い357億33百万円の支出となりました。

これらを合わせた当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は748億90百万円の減少となり、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、2,012億82百万円となりました。

(4) 今後の見通し

現時点におきまして、2021年11月1日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	224,419	219,626
売上原価	△35,947	△39,853
売上総利益	188,471	179,772
販売費及び一般管理費	△66,232	△66,542
研究開発費	△39,234	△48,219
製品に係る無形資産償却費	△2,406	△2,479
その他の収益	26,273	1,741
その他の費用	△1,712	△3,850
営業利益	105,160	60,422
金融収益	15,884	15,017
金融費用	△1,256	△655
税引前四半期利益	119,789	74,784
法人所得税費用	△30,756	△4,052
四半期利益	89,032	70,731

四半期利益の帰属		
親会社の所有者	89,032	71,000
非支配持分	△0	△269
四半期利益	89,032	70,731

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	289.52	235.51
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	289.41	235.43

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	89,032	70,731
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するもの として指定した資本性金融商品の公正価値の純変動 額	△1,190	△6,106
確定給付制度の再測定	2,293	828
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,102	△5,278
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	9,459	12,500
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△3,079	2,836
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	6,380	15,337
税引後その他の包括利益合計	7,483	10,058
四半期包括利益	96,515	80,790

四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	96,515	80,642
非支配持分	△0	147
四半期包括利益	96,515	80,790

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	90,883	102,442
のれん	9,357	9,494
無形資産	76,558	78,373
使用権資産	4,827	3,918
投資不動産	26,759	27,001
その他の金融資産	217,437	214,728
繰延税金資産	11,729	9,882
その他の非流動資産	5,200	6,378
非流動資産合計	442,754	452,221
流動資産		
棚卸資産	38,003	41,751
営業債権	78,047	80,414
その他の金融資産	142,151	240,760
未収法人所得税	164	85
その他の流動資産	21,697	22,381
現金及び現金同等物	276,173	201,282
流動資産合計	556,238	586,677
資産合計	998,992	1,038,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資本及び負債		
資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	13,733	14,683
自己株式	△57,989	△57,853
利益剰余金	752,248	790,909
その他の資本の構成要素	116,836	125,650
親会社の所有者に帰属する持分	846,108	894,670
非支配持分	18,442	17,639
資本合計	864,550	912,309
負債		
非流動負債		
リース負債	4,608	3,911
その他の金融負債	5,242	4,578
退職給付に係る負債	16,318	15,420
繰延税金負債	7,749	7,866
その他の非流動負債	341	317
非流動負債合計	34,261	32,094
流動負債		
リース負債	3,379	3,173
営業債務	9,902	11,139
その他の金融負債	21,383	18,305
未払法人所得税	28,033	5,427
その他の流動負債	37,481	56,448
流動負債合計	100,180	94,493
負債合計	134,442	126,588
資本及び負債合計	998,992	1,038,898

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	21,279	21,025	△77,292	708,291	91,848	765,152	51	765,203
四半期利益				89,032		89,032	△0	89,032
税引後その他の包括利益合計					7,483	7,483		7,483
四半期包括利益	-	-	-	89,032	7,483	96,515	△0	96,515
自己株式の取得			△20,446			△20,446		△20,446
自己株式の処分		△4,705	38,404			33,698		33,698
自己株式の消却		△30,912	30,912			-		-
配当金				△32,543		△32,543		△32,543
連結範囲の変動						-	10,696	10,696
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				2,292	△2,292	-		-
その他		35,919		△35,430	△488	△0		△0
2020年12月31日残高	21,279	21,326	△28,422	731,643	96,549	842,376	10,747	853,124

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	21,279	13,733	△57,989	752,248	116,836	846,108	18,442	864,550
四半期利益				71,000		71,000	△269	70,731
税引後その他の包括利益合計					9,642	9,642	416	10,058
四半期包括利益	-	-	-	71,000	9,642	80,642	147	80,790
自己株式の取得			△10			△10		△10
自己株式の処分		△5	147			141		141
配当金				△33,162		△33,162		△33,162
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				828	△828	-		-
その他		955		△5		949	△949	-
2021年12月31日残高	21,279	14,683	△57,853	790,909	125,650	894,670	17,639	912,309

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	119,789	74,784
減価償却費及び償却費	10,987	12,029
減損損失	—	135
金融収益及び金融費用	△14,951	△14,626
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△2,830	△1,283
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,491	△3,195
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,255	6,152
その他	△38,874	10,324
小計	66,372	84,319
利息及び配当金の受取額	24,785	18,972
利息の支払額	△71	△131
法人所得税の支払額	△32,446	△39,715
法人所得税の還付額	—	13,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,640	76,709
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,592	△256,331
定期預金の払戻による収入	139,070	188,901
有形固定資産の取得による支出	△10,077	△17,579
無形資産の取得による支出	△4,329	△3,890
子会社の取得による支出	△3,636	—
投資の取得による支出	△86,349	△89,796
投資の売却による収入	91,576	61,300
その他	△3,634	△566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,973	△117,964

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△2,688	△2,556
自己株式の取得による支出	△20,468	△10
自己株式の処分による収入	33,534	—
配当金の支払額	△32,545	△33,166
非支配持分からの払込による収入	10,401	—
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△1,575	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,342	△35,733
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△1,396	2,097
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,072	△74,890
現金及び現金同等物の期首残高	208,861	276,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	204,788	201,282

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。

2022年3月期 第3四半期業績 補足資料

2022年1月31日
塩野義製薬株式会社

① 事業別売上収益

(単位:億円)

	2021年下期 予 測	2021年度 予 測	2021年 10-12月 実 績	2020年 10-12月 実 績	2021年 4-12月 実 績	2020年 4-12月 実 績	対予測 進捗率
国内医療用医薬品	473 (△0.6)	944 (△0.3)	224 (△9.2)	247 (△14.4)	695 (△3.2)	718 (△10.5)	73.7
サインバルタ	56	171	27	70	141	205	82.6
インチュニブ	90	166	45	36	121	96	73.0
ビバンセ	7	10	2	1	6	2	53.7
感染症薬	109	166	30	27	88	76	52.7
オキシコンチン類	25	50	13	13	38	41	75.5
スインプロイク	19	31	7	6	20	17	64.5
アシテア	1	4	1	1	4	2	95.8
ムルプレタ	1	1	0	0	1	1	75.1
ピレスパ	15	35	11	12	31	40	88.0
その他	149	308	87	81	246	239	79.8
クレストール	26	57	16	14	47	51	82.0
イルベタン類	15	31	9	9	24	26	78.5
海外子会社/輸出	175 (28.6)	350 (41.8)	87 (35.1)	65 (0.1)	262 (49.7)	175 (△27.2)	74.8
シオノギ Inc.	48	127	33	21	111	54	87.6
平安塩野義/C&O	76	123	25	27	72	69	58.5
シオノギ B.V.	27	50	16	6	38	13	76.7
製造受託	95 (△27.6)	178 (△9.7)	35 (△3.1)	36 (88.0)	118 (15.3)	103 (△14.3)	66.3
一般用医薬品	74 (18.7)	134 (14.8)	24 (△28.8)	33 (27.3)	84 (△4.5)	88 (25.5)	62.5
ロイヤリティー収入	666 (△1.1)	1,320 (△8.8)	370 (△1.4)	375 (△26.0)	1,024 (△10.8)	1,148 (△11.5)	77.6
HIVフランチャイズ	640	1,252	350	311	962	951	76.8
クレストール	-	-	12	54	12	166	-
その他	26	67	9	9	50	32	74.8
その他	7 (△29.6)	14 (△18.2)	6 (37.3)	4 (△33.0)	13 (8.7)	12 (△29.1)	93.3
合 計	1,489 (0.1)	2,940 (△1.1)	745 (△1.9)	760 (△16.6)	2,196 (△2.1)	2,244 (△11.9)	74.7

注) 1. ()内 対前年UP%

2. 国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

3. 感染症薬の構成製品:ゾフルーザ、ラピアクタ、ブライトボックFlu+Neo、フィニボックス、フルマリン、フロモックス、シオマリン、バンコマイシン、バクタ、フラジール、イソジン

② - 1 四半期別業績推移(四半期別事業別売上収益)

(単位:億円)

2021年3月期	2020年4-6月 実績	対前年 UP率	2020年7-9月 実績	対前年 UP率	2020年10-12月 実績	対前年 UP率	2021年1-3月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	224	△15.1	248	△1.2	247	△14.4	229	△12.1
サインバルタ	69	2.9	66	6.8	70	△4.2	60	△1.0
インチュニブ	26	42.2	34	30.1	36	36.3	35	△2.3
ビバンセ	0	-	1	-	1	1,586.9	1	1,827.2
感染症薬	21	△40.7	27	△26.5	27	△50.4	22	△32.4
オキシコンチン類	14	△17.3	14	△1.5	13	△19.9	12	11.2
スインプロイク	5	△7.9	6	9.2	6	22.3	6	4.7
アシテア	1	3.4	1	40.1	1	44.3	1	14.6
ムルブレタ	0	△26.3	0	△19.8	0	△28.6	0	△16.1
ピレスパ	14	△17.1	14	△18.2	12	△22.1	11	△38.8
その他の	73	△28.4	85	△3.5	81	△16.2	81	△15.9
クレストール	15	△35.3	21	4.7	14	△34.2	16	△22.0
イルベタン類	8	△30.5	9	△11.4	9	△17.8	8	△23.1
海外子会社/輸出	55	△49.1	55	△18.5	65	0.1	72	5.5
シオノギ Inc.	17	△68.6	17	11.1	21	20.9	21	26.6
C & O	24	△37.5	19	△44.1	27	△11.5	31	6.6
製造受託	29	17.6	38	△50.1	36	88.0	95	68.9
一般用医薬品	23	26.1	32	23.4	33	27.3	29	8.3
ロイヤリティー収入	380	△2.4	393	△2.1	375	△26.0	298	△19.7
HIVフランチャイズ	310	△2.4	330	△0.7	311	△5.2	283	△6.7
クレストール	56	△1.6	56	△0.8	54	△0.4	△0	△100.0
その他の	15	△3.6	8	△40.7	9	△92.5	15	24.1
その他	4	△17.2	4	△36.0	4	△33.0	5	26.2
合計	714	△11.6	771	△7.0	760	△16.6	728	△7.5

注)国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

2022年3月期	2021年4-6月 実績	対前年 UP率	2021年7-9月 実績	対前年 UP率	2021年10-12月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	235	5.1	237	△4.6	224	△9.2
サインバルタ	68	△1.5	47	△29.0	27	△62.0
インチュニブ	36	37.3	40	18.2	45	27.4
ビバンセ	1	436.2	2	223.0	2	170.0
感染症薬	21	△1.6	37	34.4	30	9.3
オキシコンチン類	13	△8.9	12	△12.0	13	△1.1
スインプロイク	6	24.8	7	11.8	7	26.5
アシテア	1	79.1	1	56.2	1	36.2
ムルブレタ	0	18.0	0	△4.3	0	21.0
ピレスパ	10	△32.2	10	△27.6	11	△8.5
その他の	79	8.1	81	△5.6	87	7.4
クレストール	14	△7.7	16	△22.4	16	12.9
イルベタン類	8	△7.3	8	△10.7	9	0.4
海外子会社/輸出	93	70.0	81	46.7	87	35.1
シオノギ Inc.	47	182.7	32	89.2	33	58.6
平安塩野義/C&O	24	0.2	24	24.1	25	△7.4
シオノギ B.V.	9	144.1	14	267.6	16	180.6
製造受託	37	30.2	46	21.3	35	△3.1
一般用医薬品	25	9.0	36	11.1	24	△28.8
ロイヤリティー収入	296	△22.1	358	△9.1	370	△1.4
HIVフランチャイズ	288	△6.8	324	△1.7	350	12.3
クレストール	-	-	-	-	12	△78.9
その他の	8	△47.4	33	328.6	9	△3.4
その他	4	△17.3	4	8.6	6	37.3
合計	690	△3.4	761	△1.2	745	△1.9

注)国内医療用医薬品の製商品別売上収益は単体実績

② - 2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

2021年3月期	2020年4-6月 実績	対前年 UP率	2020年7-9月 実績	対前年 UP率	2020年10-12月 実績	対前年 UP率	2021年1-3月 実績	対前年 UP率
売上収益	714	△11.6	771	△7.0	760	△16.6	728	△7.5
売上原価	16.1 △115	△9.3	14.8 △114	△24.4	17.2 △131	0.6	22.8 △166	3.1
売上総利益	599	△12.0	657	△3.1	629	△19.5	562	△10.2
販売費及び一般管理費	29.2 △209	△9.5	28.9 △223	△5.5	30.4 △231	△3.9	35.3 △257	5.1
研究開発費	17.0 △122	4.2	16.5 △127	8.9	18.9 △144	24.8	20.6 △150	14.7
製品に係る 無形資産償却費	1.1 △8	△0.1	1.0 △8	△0.8	1.0 △8	△2.9	1.1 △8	△1.9
その他の収益・費用	25		△2		223		△24	
営業利益	40.0 286	△9.8	38.5 297	△5.8	61.7 469	7.8	16.9 123	△48.7
金融収益・費用	44	21.1	74	96.3	27	△71.0	110	0.1
税引前四半期利益	46.2 330	△6.6	48.2 371	5.1	65.3 496	△6.3	31.9 232	△33.4
税金費用他	△85	3.8	△93	15.2	△129	△1.2	△4	△94.2
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	34.3 245	△9.7	36.1 278	2.2	48.3 367	△8.0	31.4 228	△18.3

2022年3月期	2021年4-6月 実績	対前年 UP率	2021年7-9月 実績	対前年 UP率	2021年10-12月 実績	対前年 UP率
売上収益	690	△3.4	761	△1.2	745	△1.9
売上原価	17.9 △123	7.3	19.2 △147	28.9	17.3 △129	△1.7
売上総利益	566	△5.5	615	△6.4	617	△1.9
販売費及び一般管理費	31.5 △218	4.2	29.6 △225	0.9	29.9 △223	△3.4
研究開発費	21.4 △147	21.1	17.7 △134	6.0	26.9 △200	39.4
製品に係る 無形資産償却費	1.2 △8	1.2	1.1 △8	2.6	1.1 △8	5.4
その他の収益・費用	△5		△8		△7	
営業利益	27.3 188	△34.2	31.4 239	△19.6	23.8 178	△62.1
金融収益・費用	41	△6.7	40	△45.9	62	125.4
税引前四半期利益	33.3 229	△30.5	36.6 279	△24.9	32.1 240	△51.7
税金費用他	93	△209.0	△70	△24.6	△61	△53.0
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	46.7 322	31.6	27.4 209	△25.0	24.0 179	△51.3

③ 開発品（2022年1月31日現在）

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266 (セフィデロコルトシル酸 塩硫酸塩水和物) [米国: Fetroja [®]] [欧州: Fetcroja [®]]	細胞壁合成阻害 (注射)	他の治療がないまたは 限定される腎盂腎炎を 含む複雑性尿路感染 症、院内肺炎(米国) 治療が限定される好気 性グラム陰性菌による 感染症(欧州)	グローバル: フェーズⅢ (小児) 米国: 承認(複雑性尿路 感染症)(2019年11月) 米国: 承認(院内肺炎) (2020年9月) 欧州: 承認(2020年4月)	自社	自社
	S-033188 (パロキサビル マルボ キシル) [日本:ゾフルーザ [®]]	キャップエンドヌクレア ーゼ阻害 (経口・顆粒)	インフルエンザウイルス 感染症	日本: 承認(体重20kg以 上)(2018年9月) 日本: 申請(体重20kg未 満)(2018年8月)	自社	自社/Roche (スイス)
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感 染症の予防	日本: フェーズⅢ グローバル: フェーズⅢ	自社	自社
	S-217622	3CLプロテアーゼ阻害 剤(経口)	新型コロナウイルス感 染症の治療	グローバル: フェーズ Ⅱ/Ⅲ	自社	自社
疼痛・神経	S-297995 (ナルデメジントシル酸 塩) [日本: スインプロイク [®]] [米国: Symproic [®]] [欧州: Rizmoic [®]]	末梢性オピオイド受容 体アンタゴニスト (経口・散剤)	オピオイド誘発性便秘 症(小児)	欧州: フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-120083	未公表 (経口)	炎症性疼痛	日本: フェーズⅠ 米国: フェーズⅡ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-010887	未公表 (経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-117957	未公表 (経口)	不眠症	米国: フェーズⅠ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニ スト(経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニ スト(経口)	難治性・原因不明慢性 咳嗽	グローバル: フェーズⅡ	自社	自社
	S-637880	未公表 (経口)	神経症状を伴う慢性腰 痛	日本: フェーズⅡ	自社	自社
	S-812217 (zuranolone)	GABA _A 受容体ポジティ ブアロステリックモジュ レーター(経口)	うつ病・うつ状態	日本: フェーズⅢ	Sage(米国)	自社/Sage
	SDT-001	中枢作用に基づく、治 療用デジタルアプリ	ADHD患者の不注意症 状(小児)	日本: フェーズⅡ	Akili(米国)	自社/Akili
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	脆弱X症候群	米国: フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	アルツハイマー型認知 症	米国: フェーズⅡ 日本: フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
代謝疾患	S-237648	ニューロペプチドY Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本: フェーズⅡ	自社	自社
	ADR-001	ヒト他家脂肪組織由来 の間葉系幹細胞(注 射)	非代償性肝硬変	日本: フェーズⅠ/Ⅱ	ロート(日本)	自社/ロート
	S-723595	アセチルCoAカルボキシ ラーゼ2阻害(経口)	非アルコール性脂肪肝 炎	日本: フェーズⅠ	自社	自社
	S-309309	モノアシルグリセロール アシルトランスフェラー ゼ2阻害剤(経口)	肥満症	米国: フェーズⅠ	自社	自社

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
フロンティア	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	食道がん	日本:フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧:フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン (注射)	固形がん	英国:フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエンス(日本)	自社
	S-222611 (epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻 害薬(経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-770108	抗線維化作用 (吸入)	特発性肺線維症	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用 (外用)	皮膚潰瘍(褥瘡, 糖尿 病性潰瘍)	日本:フェーズⅢ	ファンペップ(日本)	自社/ファンペップ
	S-005151 (レダセムチドトリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	脳梗塞	日本:フェーズⅡ	ステムリム(日本)	自社
	S-005151 (レダセムチドトリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	表皮水疱症	日本:フェーズⅡ	ステムリム(日本)	自社
	S-531011	CCR8特異的モノクロー ナル抗体(注射)	固形がん	日本・米国:フェーズⅠ b/Ⅱ	自社	自社

<導出品>

開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1265744 LAP*1 (cabotegravir)	インテグラーゼ阻害 (注射)	HIV感染症(治療 及び予防)	(CAB*2 LAP+RPV*3 LAP 2剤療法) カナダ:承認(2020年3月) 米国:承認(2021年1月) 欧州:承認(2020年12月) (CAB LAP、予防適応) グローバル:フェーズⅢ	Shionogi-ViiV Healthcare	治療:ViiV Healthcare(英国) 予防:ViiV、HPTN、 NIAID、Gilead(米 国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメ ティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:申請(2021年12月)	自社	キッセイ薬品(日 本)
S-033188 (パロキサビルマル ボキシル) [米国:Xofluza™]	キャップエンドヌクレ アーゼ阻害 (経口)	インフルエンザウ イルス感染症	米国:承認(2018年10月) 米国:承認(ハイリスク患者)(2019年10月) 米国:申請(小児、1歳以上)(2020年3月) 米国:承認(顆粒、12歳以上)(2020年11月) 米国:承認(予防投与、12歳以上)(2020年11月) 欧州:承認(治療、12歳以上)(予防投与、12歳以 上)(2021年1月) グローバル:フェーズⅢ(小児、1歳未満) グローバル:フェーズⅢ(伝播抑制)	自社	自社/Roche(スイ ス)
S-555739 (asapirant)	プロスタグランジンD2 DP1受容体拮抗 (経口)	COVID-19の重症 化抑制	米国:フェーズⅡ	自社	BioAge(米国)

*1 Long acting parenteral formulation, *2 Cabotegravir, *3 Rilpivirine

2021年11月1日からの変更点

ステージの変更	S-268019: 日本:フェーズⅡ/Ⅲ→日本:フェーズⅢ、グローバル:フェーズⅢ
	S-217622: 日本:フェーズⅡ/Ⅲ→グローバル:フェーズⅡ/Ⅲ
	S-812217: 日本:フェーズⅡ→日本:フェーズⅢ
	S-0373: 日本:フェーズⅢ(申請準備中)→日本:申請(2021年12月)
開発品の削除	S-600918(睡眠時無呼吸症候群): 開発中止のため(2021年12月)